

MUSEUM Eyes

ようこそ



2004 春

特集

ようこそ 新装なった明治大学博物館へ！

新世代博物館の諸施設

特別展 韓国スヤンゲ遺跡と日本の旧石器時代

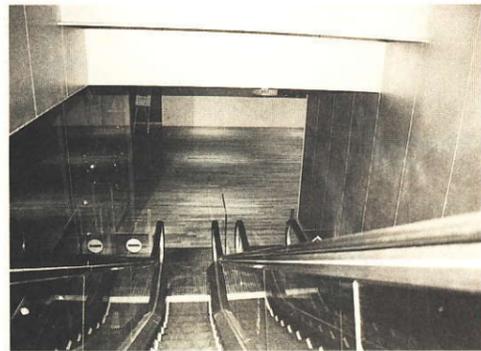
明治大学博物館

Mm
MEIJI UNIVERSITY
MUSEUM

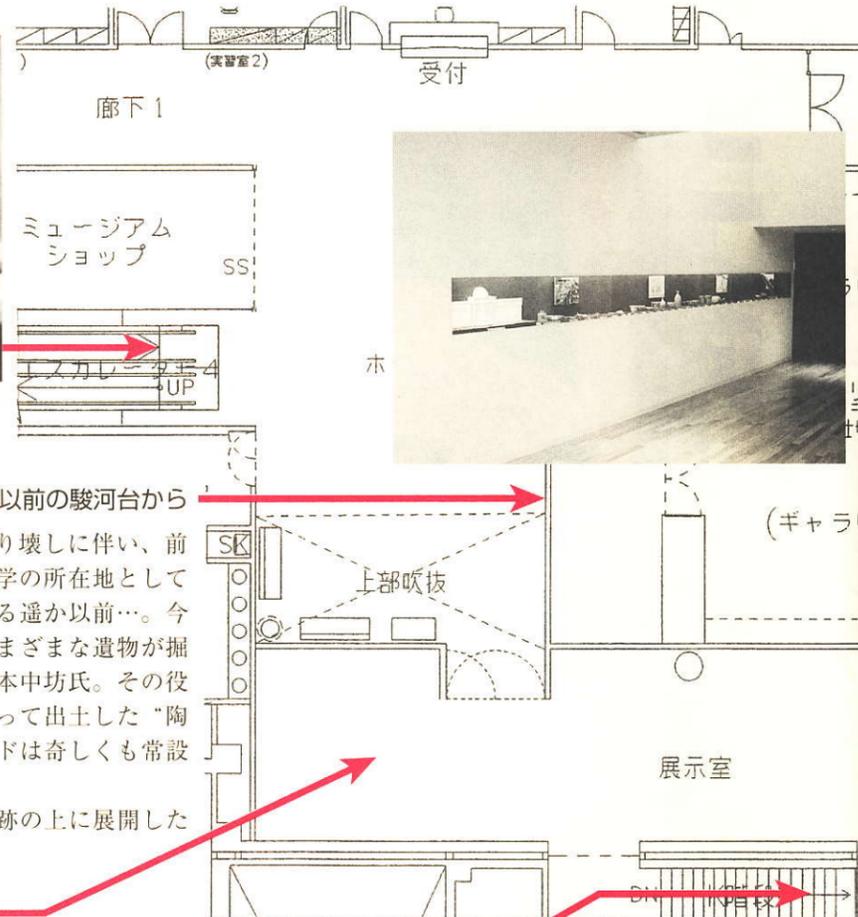
ようこそ 新装なった明治大学博物館へ！

2004年4月、新校舎アカデミーコモンに、刑事・商品・考古学の旧3博物館を母体とし、私立大学では初のユニバーシティ・ミュージアム※を志向した明治大学博物館が開館します。新博物館の特色は、“交流”をキー・コンセプトとした新校舎に、学生・教職員はもとより、校友、生涯教育講座受講者、また一般社会に開放された、世代や地域の違いを越えて、様々な人々の集う場所を目指したところにあります

開館を目前に、その中味をちょっとご案内いたしましょう。



エントランス



導入展示 ~展示室へのいざないは遙か以前の駿河台から

1995年冬。長らく親しまれた旧記念館の取り壊しに伴い、前庭の発掘調査がおこなわれました。明治大学の所在地として“その名も高き駿河台”。記念館が建設される遙か以前…。今を去ること百数十年前の屋敷跡からは、さまざまな遺物が掘り出されました。屋敷の主は徳川幕府の旗本中坊氏。その役職は“火附盗賊改”。そして、“発掘”によって出土した“陶磁器”“漆器”…、「!」といったキーワードは奇しくも常設展示の3部門に関連してゆきます。

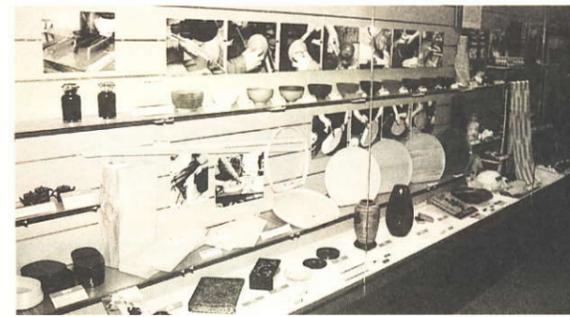
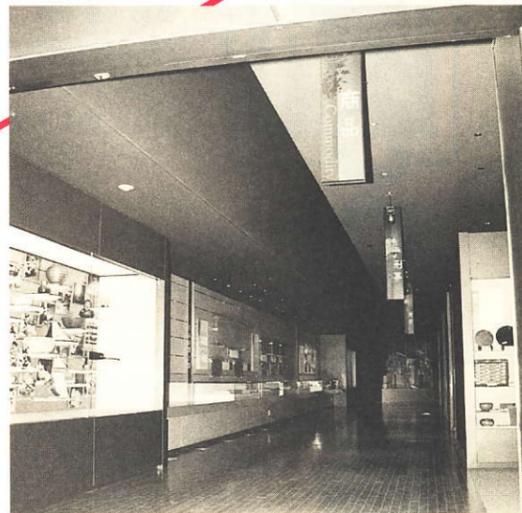
さァ、つづく展示室は、その記念館前遺跡の上に展開した明治大学発展の歴史から始まります。

大学史展示室

明治大学の創立者や教職員・学生・校友に関する多彩な資料を常設展示しています。また、授業や学生寮の体験・再現コーナーや活躍する卒業生らの校友紹介コーナーなども用意しました。大学史資料センターが運営しています。

常設展示室

階段をB2階に降りると、青・緑・茶の3連のパナー・サインが目に入ります。こちらが、旧3博物館を引き継ぐ新装なった常設展示です。そのあらまは館案内のリーフレットをご参照いただくとして、ここでは…、折角ですからここだけの話。各展示部門の注目点を担当した学芸員からきいてみましょう。



刑事部門

話；伊能秀明事務長

展示のコンセプトは、明治大学の建学の理念である「権利自由」のもとで、人権抑圧の歴史を展示し、人権尊重に資するというものです。残虐な拷問・刑罰の歴史を、血のイメージを強調しすぎることなく、無機質な空間として表現しました。資料の見せ方で工夫したことは、資料の特性を最も適切に引き出すために、補助媒体として写真・解説等を併置した点です。ちなみに、解説パネルには日本語と英語を併記しました。新展示では、世界の刑事資料も収集し、「さまざまな刑事博物」のコーナーを新設します。「清朝刑罰図」「マリア・テレジア刑事法典」等は新収品です。大学会館からアカデミーコモンの博物館に移転するにあたり一番大変だったことは、ギロチンの解体・搬入・組み立て・据え付けです。延べ12人がかりで行いました。完成した新展示は、多くの方々の支えによって出来上がりました。これに関わった大勢の方々の智慧と汗と苦心の結晶でもある新展示をぜひご覧ください。

商品部門

話；外山徹学芸員

通路側の導入展示は、文字を用いずに、実物とイメージ写真によるメッセージという仕掛けにしました。出来はどうでしょう？ メッセージを飲み取っていただけますでしょうか？ そして、今後も細部を充実させてゆきます。と言いますのは、展示工学的な特徴として、断続的な展示更新が可能ないように、レイアウトを自在に変更できる特別製の展示ケースをしつらえたわけです。奥の3つの小ケースでは、さらに回転を早くしてミニ企画をおこないます。その上部には映写装置を組み込んでいます。各部門ともにAV機器に頼らないアナログな新展示ですが（笑）、ここだけは違います。主に工芸品製作の映像を放映します。迫力の画面をお楽しみください。

展示の趣旨は元の商品博物館と同じで、原材料から製品が出来上がるまでというのが基本ですが、内容は飛躍的に充実しました。以前は未完成という感じでしたが、かなり網羅的に日本の伝統工芸の技術的側面をご理解いただけたと思います。



考古学部門

話；黒沢浩学芸員

明治大学が調査・研究してきた資料を基にした

「学史展示」という旧考古学博物館でのコンセプトはそのままに、最新の研究成果を取り入れた展示になっています。特に資料の選出には、展示コンセプトに最もふさわしい資料をと厳選に厳選を重ねています。展示の目玉のひとつはやはり埴輪の露出展示です。うす暗い展示室の奥に浮かび上がる姿は圧巻でしょう。その他、壁面を利用したインパクトある展示一貝層剥離標本、大型パネルなども見所ではあると思うのですが、実は他にも工夫した点が…。それは発掘現場の写真を多用する事。目の前にある資料というのは展示ケースに並ぶ前にいろいろな経過をへています。でも、ただ展示してあるだけではそれが見えてこない。全ての考古資料が発掘調査を起点にしているのだということを一般の人たちにも感じて欲しい、展示のそこかしこにそういう思いが込められています。

※ユニバーシティ・ミュージアムとは、1995年の文部省（当時）学術審議会中間報告を契機に、国立大学で先行して整備されてきた新しい型の大学付属博物館です。

皆様のご利用をお待ちしています

新世代博物館の諸施設

新装なった明治大学博物館は新世代型の博物館活動を実現できる施設を目指しました。そこでは、実物資料の収蔵・展示という博物館の基本に加え、近年注目されるさまざまな教育プログラムの推進や、一般社会における様々な共同体との“対話と連携”により、文化的営為としての新しい博物館像を目指した活動が実施されます。

新博物館において、施設上、大きく進化した部分は、特別展示室の設置、教育普及施設・収蔵施設の充実で、それ以外にも、ミュージアム・ショップなどファシリティ機能として近年注目される施設、また、大学史展示室や文化財分析室などの関連施設を同一フロアに集約しています。学芸員養成課程実習室も併設され、大学の付属館として博物館研究の最新動向を反映した実践的事業をおこなう、言わば、博物館学の実験室としての役割が期待されます。

特別展示室 博物館の主催する特別展覧会のほか、学内関係者・諸団体、その他の主催する展覧会場として、全学的な共同利用施設として活用します。

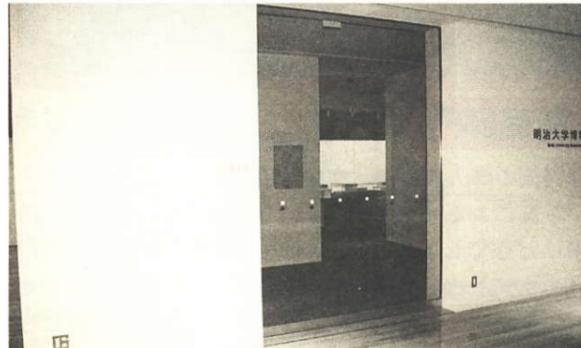
図書室 展示内容に関する参考文献その他を配架。教養書、カラー図鑑から、他館の出版物、研究書、文化財調査報告書まで。約17万冊を皆様の学習活動に供します。閲覧のみ。

博物館教室 収蔵資料に直に接していただきながら、懇切な解説と相互コミュニケーションによる講座を開催します。教材提示装置、映像・音響機器など、最新の機器を完備。

体験学習室 収蔵資料のハンズ・オン、また、工作、各種デモンストレーション等をとまなう体験型イベントの会場として使用します。

ミュージアムショップ 知的遊び心あふれるお洒落なミュージアム・グッズを販売します。来校・来館の記念、お土産として、また、親しい人へのプレゼント・グッズにも是非ご利用ください。

収蔵室 3通りの保存環境の設定を可能とし、防災設備も完備した、学内の教育資源を永久保存するにふさわしい、駿河台の巨大タイムカプセルとも言うべき場所です。



リニューアルオープン記念特別展 国立忠北大学校博物館・明治大学博物館共同事業2004

韓国スヤング遺跡と日本の旧石器時代

—SUYANGGAE and Her Neighbours—

主催：国立忠北大学校・明治大学・国立忠北大学校
博物館・明治大学博物館

会場：明治大学博物館 特別展示室
(アカデミーコモン地下1階)

会期：4月1日(木)～5月31日(月)

時間：10時～16時30分

韓国忠清北道丹陽郡にあるスヤング遺跡は、国立忠北大学校により精力的に調査研究されてきた韓国旧石器時代を代表する遺跡の一つで、国史跡に指定されています。スヤング遺跡は、朝鮮半島と日本列島を比較する旧石器時代研究のなかで、細石器文化や剥片尖頭器など列島と共通する石器とその文化が盛んに指摘されてきました。

今回の明治大学博物館特別展では、400点近い韓国旧石器時代資料をもとに、スヤング遺跡とその石器文化の全貌を紹介します。あわせて地理的に、あるいは石器文化として関係が深い列島の旧石器を展示し、東アジアにおける旧石器時代文化の広がりの意味を考えてみたいと思います。



〈展示の主な内容〉

- 韓国中原地域の旧石器時代
国立忠北大学校による韓国旧石器時代洞穴遺跡の発掘調査を紹介します。日本列島では数少ない、旧石器時代の動物遺体などを展示します。
- スヤング遺跡の旧石器時代
スヤング遺跡の出土品から、旧石器時代の九州地方と関係が深いと考えられている剥片尖頭器や、旧石器時代終末に東アジア一帯にひろがった細石器文化の石器群など360点余を一堂に展示します。韓国旧石器の展示規模としては本邦初の試みです。スヤング遺跡の全貌が明らかにされます。
- 列島の剥片尖頭器と細石器
朝鮮半島と地理的に近い九州地方の石器群を中心に、スヤング遺跡を特色づける剥片尖頭器や細石器などを比較展示します。旧石器時代文化の広がりを体感していただきたいと思います。

入場料 500円 (常設展示の見学は無料)

※本学在学学生・教職員・リバティアカデミー会員・明大カード会員は無料で入場できます。
学生証・教職員証・会員証・明大カードをご提示下さい

メディアにのった博物館

■資料・貸出掲載等

- ▶ 錦絵 薩州屋敷焼撃之図 大石学『歴史・文化ガイド 新選組の時代』日本放送出版協会
- ▶ 大塩平八郎施行札口上, 錦絵 地方測量之図, 大塩平八郎の檄文 『週刊朝日百科 82 新訂増補 近世から近代へ2 大塩の乱と天保の改革』朝日新聞社
- ▶ 錦絵 山崎大合戦の図 『もっと知りたい!新選組』JTB
- ▶ 内藤家文書 有馬家中延岡城下屋敷付絵図 『宮崎の陶磁器—その源泉をたどって—』宮崎県立美術館
- ▶ 鑑札 株仲間札 (明和9年8月雲母株, 嘉永7年正月松前物并諸干物) 『その時歴史が動いた』第22巻 NHK取材班
- ▶ 内藤家文書 亥之八月就大坂御番御登道中行列 朝尾直弘『朝尾直弘著作集 第七巻 身分制社会論』岩波書店
- ▶ 地方測量之図 企業文化広報誌『Metamorphosis』9号 編集工学研究所
- ▶ 時世のぼり凧 『週刊朝日百科 86 新訂増補 近世から近代へ6 世直しとええじゃないか』朝日新聞社
- ▶ 無宿長脇差取締の高札 国立歴史民俗博物館『歴博』122号 2003年1月号
- ▶ 出羽国村山郡長崎村 柏倉家文書「農兵一段備配陣絵図」 石ノ森章太郎『マンガ日本の歴史 龍馬と新撰組 日本を洗濯いたしたく』中央公論新社
- ▶ 深鉢形土器 (神奈川県夏島貝塚) 『ビジュアル日本史』東京法令出版
- ▶ 刃部磨製石斧 (群馬県岩宿遺跡) 深鉢形土器 (神奈川県夏島貝塚) 『日本史図表』第一学習社
- ▶ 刃部磨製石斧 (群馬県岩宿遺跡) ナイフ形石器 (埼玉県砂川遺跡) 『小学館学習まんがシリーズ 名探偵コナン 推理ファイル 日本史の謎!』小学館
- ▶ 石匙 (岩手県雨滝遺跡) 『LAN版 歴史資料集』新学社
- ▶ 家形埴輪 (茨城県舟塚古墳) 『考古学者石野博信のアジア民族建築見てある記』小学館
- ▶ 遮光器土偶 (青森県亀ヶ岡遺跡) 『中3受験』学書
- ▶ 深鉢形土器 (神奈川県夏島貝塚) 『揺れる古代の実年代』共同通信社
- ▶ 石庖丁 (京都府深草遺跡) 『社会科資料集6年』青葉出版
- ▶ 家形埴輪 (茨城県舟塚古墳) 『考古資料大観 第4巻 弥生・古墳時代 埴輪』小学館
- ▶ 遮光器土偶 (青森県亀ヶ岡遺跡) 『中学準備テキスト』学書
- ▶ 発掘調査風景 (群馬県岩宿遺跡) 『小学社会6年上』大阪書籍
- ▶ 刃部磨製石斧 (群馬県岩宿遺跡) 『チャート式シリーズ 新日本史』数研出版
- ▶ 骨角器 (神奈川県夏島貝塚) 『東京都認可通信教育 考古学入門講座 テキスト』学校法人日本放送協会学園
- ▶ 石庖丁 (京都府深草遺跡) 『Challenge 社会』ベネッセコーポレーション
- ▶ 美濃焼・織部手鉢 他 明治大学商学部編『これが商学部』同文館出版

■館紹介等の取材・撮影・放映 (テレビ・ラジオ)

- ▶ 今川仮名目録 (今川仮名目録追加 第5・20条 駿府不入事 不入地事) 朝日放送『パネルクイズアタック25』テレビ朝日系列全国ネット 2004年1月18日放送
- ▶ 内藤家文書 武家諸法度 NHK総合テレビジョン「その時歴史が動いた『忠臣蔵・お裁き始末記〜忠義か、犯罪か?幕府をゆるがした五十日〜』」2003年12月10日放送
- ▶ 内藤家文書『五十三次ねむりの合の手』より福住旅館の図 「甕の街道 江戸をめざした旅人たち『第8話女たちのみち 江戸旅日記』」(ビデオコミュニケーションズ)
- ▶ 岩宿遺跡出土石器 (群馬県岩宿遺跡) NHK「首都圏ネットワーク」2003年9月24日
- ▶ 岩宿遺跡出土石器 (群馬県岩宿遺跡) NHK衛星第一テレビ「BSいきいき首都圏」2003年11月11日



博物館活動の記録

9月

- 1月 新博物館常設展示計測 [考古] (1~5日)
- 16火 見学実習受入: 刑事・考古17名 (京都女子大学)
- 18木 商品博物館展示替「秋のテーマ」
- 22月 考古学博物館開館延長 (~18:30) ~12/22の毎月・火曜日

10月

- 4土 考古学博物館友の会創立15周年記念特別講演会
- 6月 実習生受入: 考古1名 (6~10日)
- 11土 見学実習受入: 3館20名 (創価大学学芸員養成課程)
- 19日 第6回ホームカミングデー開催に伴う 3館特別開館及びガイドツアー
- 23木 ミュージアムショップ愛称選考審査会 体験学習受入: 考古4名 (青梅市立露台中学2年生)

31金 第34回公開講座考古学セミナー「近畿地方の考古学II」第1講 (~11/28全5講)

11月

- 新博物館移転準備のため3館閉館 (11/1~翌3/31) (考古学博物館図書室のみ開室 ~翌1月)
- 4火 考古学博物館図書室開室延長 (月・火 ~18:30翌1月迄) / 実習生受入: 考古1名 (4~17) 2名 (4~7)
- 7金 実習生受入: 考古7名 (11/7~28毎金曜日)
- 10月 実習生受入: 考古1名 (11/10~14) 2名 (11/10~21)
- 17月 実習生受入: 刑事2名 (11/17~21) 考古2名 (11/17~22) 商品3名 (11/17~21)
- 28金 大久保忠和考古学振興基金奨励者授与式

団体見学の記録 2003年6月~10月

【一般】

- 千代田区立一橋中学校 9名
- 埼玉県東部地区父母会 164名
- 埼玉県西部・南部父母会 138名
- 多摩地区・千葉県父母会 50名
- 東京都東部・北部地区父母会 90名
- 神奈川県東部地区父母会役員 24名
- 日本文化の会 25名
- 流山市立博物館 24名
- 江東豊洲文化センター 16名
- 文京区教育委員会 77名
- 遺跡見学同好会 15名
- ラボ教育センター 7名
- 歩いて郷土の歴史を学ぶ会 11名
- 品川さわやかウォーキングクラブ 14名
- あじさい大学 14名
- 放送大学埼玉学習センター 15名
- 南アフリカ合気道指導者 8名
- 元気会 7名
- 調布市古文書学習会 12名
- 横浜歴史散歩の会(A班) 46名
- ひだまり 9名
- 社会福祉法人 トラムあらかわ 9名
- いきがい大学 史跡クラブ 10名
- 栃木県立宇都宮東高等学校PTA 60名

- 鈴鹿市立鈴峰中学校 41名
- 安城市立安城南中学校 5名
- 練馬区立大泉第二中学校 7名
- 北区立浮間中学校 5名
- 北区立稲付中学校 14名
- 学校法人 芝学園中学校 7名
- 女川町立女川第一中学校 6名
- 所沢市立上山口中学校 13名
- 所沢市立富岡中学校 15名
- 渋谷教育学園幕張高等学校附属中学校 24名
- 明治学院中学校 48名
- 千代田区立一橋中学校 10名
- 清瀬市立第三中学校 6名
- 江東区立砂町中学校 6名
- 足立区立第十四中学校 37名
- 相模原市立上溝南中学校 15名
- 練馬区立石神井南中学校 5名
- 筑波大学附属駒場中学校 14名
- 新宿区立西新宿中学校 17名
- 多摩市立落合中学校 15名
- 佼成学園女子高等学校 7名
- 横浜市立みなと総合高等学校 8名
- 神奈川大学附属高等学校 6名
- 淑徳学園高等学校 7名
- 淑徳学園高等学校 7名

- 東京都立日比谷高等学校 34名
- 東京都立大泉学園高等学校 20名
- 私立立正高等学校 10名
- 長野県立松本深志高等学校 26名
- 埼玉県立川越高等学校 7名
- 浪速高等学校 6名
- 新潟県立小千谷西高等学校 7名
- 高知県立須崎高等学校 7名
- 富山県高岡第一高等学校 34名
- 埼玉県立川口北高等学校 30名
- 東京都立日本橋高等学校 9名
- 明治大学附属中野高等学校 60名
- 千葉県立成田国際高等学校 20名
- 須磨学園高等学校 5名
- 星稜高等学校 15名
- 公文国際学園高等部 26名

【大学・専門学校】

- 早稲田大学 江戸時代史研究会 18名
- 京都女子大学 17名
- 名古屋大学法学部日本法制史ゼミ 7名
- 駒澤大学学芸員養成課程 23名
- 創価大学 20名
- 中央高等学院 13名
- 東京YMCA英語専門学校 4名

【小学校・中学校】

- 三鷹市立羽沢小学校 6年生 57名
- 伊勢崎市立第四中学校 12名
- 川崎市立御幸中学校 18名

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----	----

開館記念特別展
韓国スヤンゲ遺跡
と
日本の旧石器時代
4月1日～
5月31日

入門講座33
新生明治大学
博物館のすべて
6月4日～
7月9日
のうち(金)全6回

夏
季
休
館

8
月
10
日
～
16
日

入門講座34
博物館おもしろ百科
～知の越境を愉しむ～
9月～12月(水)全5回

入門講座35
刑罰史跡逍遙講座
9月～12月(水)全5回

入門講座36
展示ケースの向こう側
—考古部門常設展示・
考古コレクションの逸品?たち—
9月～1月(木)全10回

冬
季
休
館

12
月
26
日
～
1
月
7
日

博物館公開講座※
楽学講座 大江戸犯科帳の世界
4月15日～12月2日のうち
(木)全10回

考古学ゼミナール35※
中国・四国の考古学
5月28日～ 毎週(金)全5講

入門講座37
伝統工芸は今…
漆器の伝統と現在
11月～12月(火)
全5回

考古学ゼミナール36※
九州の考古学(予定)
10月～11月(金)全5講

※印の講座は受付が明治大学リバティ・アカデミー事務局 (03) 3296-4423 academy@mics.meiji.ac.jp となります
詳しい内容はリバティ・アカデミー総合案内もしくはホームページ (http://academy.meiji.jp) をご参照ください

ミュージアム・ショップ愛称決定!

2004年4月にオープンするミュージアム・ショップの愛称を募集したところ、在学生、校友をはじめ、多くの方からご応募いただきましてありがとうございます。厳正な審査の結果、愛称は石川祐子さん、田村厚子さんの「エムツー」に決定いたしました。

この「エムツー」が多くの人に愛され、永く親しまれることになるように応援をよろしくお願いたします。



ショップ・ロゴマーク

博物館開館時間について

10:00～16:30 (入館16:00)
2004年4月1日より日祝日も開館いたします

《休館日》

8月の土・日曜 大学夏季休業日 8月10日～16日
大学創立記念祝日 11月1日
大学冬季休業日 12月26日～1月7日

2004年3月26日発行
明治大学博物館 みゆうじあむ あいず 第36号
〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1
TEL (03)3296-4448 FAX (03)3296-4365
Eメール museum@mics.meiji.ac.jp
ホームページ http://www.meiji.ac.jp/museum/
印刷 近藤印刷株式会社